

令和8年度 学校経営方針

弘前市立第二中学校長

1 学校教育目標

高い理想を持ち、生き生きと、
協力し、人の役に立つ

自分の将来を思い描き、夢や目標をもつことにより、その実現に向けて、自分なりに工夫しながら学び、活動することが可能となる。自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考えることにより、人生を生き抜く確かな学力を身に付けられるのである。

しかし、どんなに高い理想や希望があっても、心や体が健康でなければその願いは叶わない。特に、自分を他の人と比べたり、他の人の言うことを気にして自分の良いところが見えなくなったり、自分に自信がもてないところや嫌いなところを必要以上に意識してしまったりすることで、何かに挑戦しようとする気持ちを失ってほしくない。一人一人には、それぞれの良さや可能性の種があるということを忘れず、生き生きと学校生活を送ってほしい。

私たち人間は、それぞれが個性をもった個人として、自分自身の生き方や考え方をもっている。誰ひとりとして同じ人はいない、唯一無二のかけがえのない存在である。一人一人が違う存在であるということを認め合い、そして、その違いを尊重してより良い人間関係を築き、一人一人の個性を生かし合いながら、周りの人たちと協力して課題を解決することが大切である。感謝の気持ちを忘れず、人の役に立つことを自らの幸せにできるような人に育ってほしいと願っている。

2 努力目標（第二中学校区 目指す子ども像）

進んで学び、粘り強く学び続ける生徒（知）
仲よく、思いやりの心を実践する生徒（徳）
心身ともに健康で、生き生きした生徒（体）

3 目指す学校像

安心して登校（入学）でき、満足して下校（卒業）できる学校

安心して登校できる学校とは、いじめのない学校、不登校生徒の出ない学校、登下校を含む学校生活で安全が確保されている学校である。

満足して下校できる学校とは、落ち着いた学習環境の中で「分かった、できた」という充実感が得られる学校、学校行事、生徒会活動、部活動などで自主的・意欲的な参加による達成感や帰属感などが得られる学校である。

4 学校教育課題

（1）人間関係づくりを重視した教育活動の推進

→生徒間、生徒・保護者と教職員、教職員間、それぞれの関係づくりに重点を置く

（2）一人一人が「分かった、できた」と実感できる学習指導

→個に応じた指導の更なる工夫（個別最適な学びの充実）

（3）自己肯定感・自己有用感を高める体験活動・奉仕活動

（4）全校体制による特別支援教育の充実

→特支学級数の増加に伴い、全職員で特別支援教育に取り組もうとする意識を更に高めるため、特に職員間の連携を密にする手だてを工夫する

（5）地域とともにある学校づくり

5 学校経営の基本方針

生徒の心の機微を捉え、ほめ・認め・励まし、主体性を育む

現在、令和9年夏の完成を目指し、第二中学校等複合施設整備事業が進められており、これを契機とした新たな学校づくりが求められています。また、地域コミュニティの一員としての学校の役割や外部から寄せられる期待の大きさについても、改めて認識する必要があります。こうした状況を踏まえ、目の前の生徒一人一人への教育活動を着実に進めるとともに、「新たな二中づくり」への意識をもちながら、学校運営を進めていきます。

また、令和7年度の生徒の様子を見ると、学校における主体的な学びや協働的な学びに対しては、意識の高まりが見られる一方で、学習内容の理解度や家庭学習の定着については、各種調査から課題がうかがえます。さらに生活面においても、人間関係やSNS利用を起因としたトラブルが散見され、判断力や粘り強さの育成に課題があります。

これらを踏まえ、今年度は、自分の意志・判断によって何をすべきかを考え、自ら責任をもって行動しようとする「主体性」を育む教育活動を一層推進し、まずは、生徒の自己肯定感の向上を目指します。そのためにも、生徒会活動や奉仕活動等を通して、自己有用感を育み、それと併せて社会性を身に付けさせていければと考えます。

次に、今年度も「主体性」を育む教育活動を展開するに当たっては、教職員がチームとなって生徒の傍に寄り添うことで、小さな変化をも捉え、ほめ・認め・励ますことが重要です。加えて、常に教師の指示のもとで活動させるのではなく、時には生徒に任せ、失敗から学ぶ機会を意図的に設定することも必要です。失敗を次につなげるための支援や方向付けを必ず行いながら、長期的な視点で成長を見守ることで、生徒一人一人の主体性を育みたいと思います。

このような取組を通して、生徒が将来、自らの能力を最大限に発揮できる素地を育てることが、私たち中学校教職員の使命であると考えます。

令和8年度は、以上のような使命感をもち、目指す教師像を踏まえながら、全教職員が一丸となって、目指す学校像・子ども（生徒）像の実現を目指したいと思います。

目指す教師像「意欲を引き出す、変われる教師」

- | | |
|---------------------------|----------------|
| ① 教育専門職としての自覚と責任（服務規律の遵守） | |
| ② コミュニケーションを重視し、柔軟に組織的に動く | |
| ③ 改善意識を常にもち、授業で勝負 | ④ キャリア教育の視点をもつ |

6 学校経営の重点

(1) 安心して登校できる学校づくりに向けて

- | | |
|------------------------------|----------|
| ① 安全・安心な風土の醸成によるいじめ・不登校の未然防止 | [生徒指導] |
| ② 諸問題に対する適切な初期対応と家庭・関係機関との連携 | [生徒指導] |
| ③ 人間の多様性を尊重し、命を大切にする道德教育の推進 | [道德教育] |
| ④ 困ったときにいつでも相談できる「生活集団づくり」 | [特別活動] |
| ⑤ 生活習慣（二中基準）を育成するための具体的な取組 | [特別活動] |
| ⑥ 家庭と連携し、健康で安全な生活ができる生徒の育成 | [保健安全指導] |
| ⑦ 精神的にも環境面でも安全・安心な学校づくり | [危機管理] |

(2) 満足して下校できる学校づくりに向けて

- | | |
|-------------------------------|----------|
| ① 困ったときにいつでも相談できる「学習集団づくり」 | [学習指導] |
| ② 学習習慣（学校・家庭）を育成するための具体的な取組 | [学習指導] |
| ③ 自主的な態度を育て、話し合いができる学級活動の推進 | [特別活動] |
| ④ 主体性を生かした創意工夫ある生徒会活動の充実 | [特別活動] |
| ⑤ 一人一人の教育的ニーズに基づいた適切な指導・支援の充実 | [特別支援教育] |
| ⑥ 特別支援教育体制の見直しと充実 | [特別支援教育] |
| ⑦ 職場体験学習など地域と関わりながら学ぶ体験活動の充実 | [キャリア教育] |
| ⑧ 郷土に関する探究活動を通じた郷土への愛着と表現力の育成 | [総合的な学習] |